

## 愛媛HIV検査普及週間のお知らせ 心配するよりもまず検査！受けようHIV検査 -

6月1日(月)～6月7日(日)は、愛媛HIV検査(エイズ検査)普及週間です。県保健所ではこの期間、夜間・休日等のエイズ検査(迅速検査)とエイズ相談を実施します。無料、匿名で受けることができますので、感染不安のある方、エイズについて知りたいことがある方など、お気軽にご利用ください。実施日時などは各保健所によって異なりますので、最寄りの県保健所へお問い合わせいただくか、県ホームページ「愛媛HIV検査普及週間のお知らせ」(<http://www.pref.ehime.jp/h25500/hiv/hiv-kensasyuukan2009.html>)をご覧ください。後天性免疫不全症候群の発生動向については、次ページに掲載しました。

### 発生動向の概況

インフルエンザは、ほぼ終息しました。今シーズンの累積定点当たり患者報告数は299.1人と、過去10シーズンで最も大きな発生規模でした。患者報告数は減少しましたが、依然として県下各地で散発的に発生しています。2005年以降、7～8月までごく少数例の患者報告が続いていますので、引き続き、咳エチケット・帰宅後の手洗いなどの感染予防を励行してください。これらの予防策は新型インフルエンザの予防にも有効とされています。

新型インフルエンザの発生地域に滞在、旅行した方などで、発熱や咳などの症状があり、新型インフルエンザの感染が心配な方は、直接病院に行かず、最寄りの保健所の相談窓口へご相談ください。詳細は県ホームページ「新型インフルエンザに関する情報」([http://www.pref.ehime.jp/h25500/1189919\\_1954.html](http://www.pref.ehime.jp/h25500/1189919_1954.html))をご覧ください。

感染性胃腸炎は、4月以降、大きな変動はなく宇和島地区を除く県下全域でやや多発しています。病原体はロタウイルスに加え、ノロウイルス、サポウイルス、カンピロバクターも検出されています。手洗いの励行と、食品の温度管理など一般的な食中毒予防も心がけてください。

マイコプラズマ肺炎は、県下各地で発生していますが、特に南予で増加傾向が見られます。百日咳も散発していますので、咳が長引く場合は早めに医療機関を受診してください。

夏に流行する感染症(咽頭結膜熱(プール熱)・手足口病・ヘルパンギーナ(夏かぜの一種))は、例年では増加する時期を迎えています。今のところ県下各地でごく少数例の発生に留まっています。今後の動向にご注意ください。

### 県内での感染症発生状況

全数把握感染症(結核は除く)

五類感染症 : アメーバ赤痢 1例  
梅毒 1例(無症候)

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)

	愛媛県推移	県内の傾向
インフルエンザ	0.5	ほぼ終息したが、県下各地で散発的な発生が続く。
A群溶レン菌咽頭炎	1.6	増減を繰り返しながら、県下全域で散発。
感染性胃腸炎	11.4	4月以降、ほぼ横ばいで推移し、例年に比べ多発。
流行性耳下腺炎	0.9	県下各地で散発。中予では減少傾向が見られるが、東予ではやや増加。
マイコプラズマ肺炎	2.2	県下各地で散発。南予で増加傾向。

解析評価委員のコメントから

インフルエンザ : ほとんど見られなくなりました。(東予)



ほとんど見られなくなってきました。しかし一部の学校では複数の生徒がかかっている所もあるようです。(B型です)(中予)

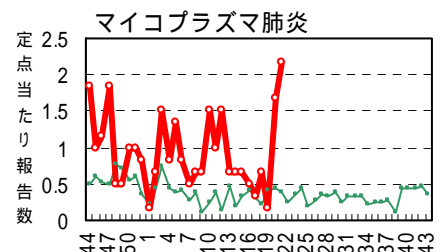
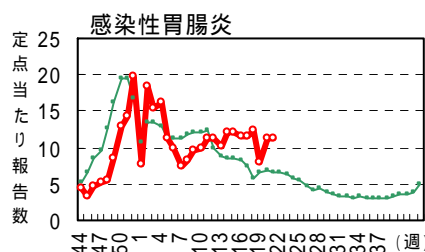
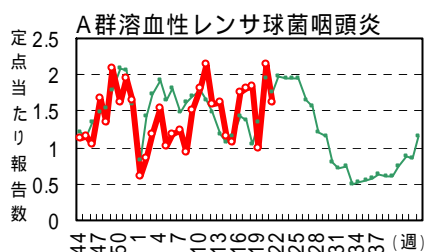
検査キットでは全て陰性です。(南予)

咽頭結膜熱 : 結膜炎のないアデノウイルス感染症はたまに見られます。(東予)

感染性胃腸炎 : 乳幼児のみならず、児童や生徒でも見られています。高熱をとまなう例も多く見られます。(中予)

マイコプラズマ肺炎 : 今年は多いです。(南予)

過去30週の動向 (  : 過去30週の動向、  : 過去10年の平均 )



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.jp) までお願い致します。

## 後天性免疫不全症候群（エイズ）について

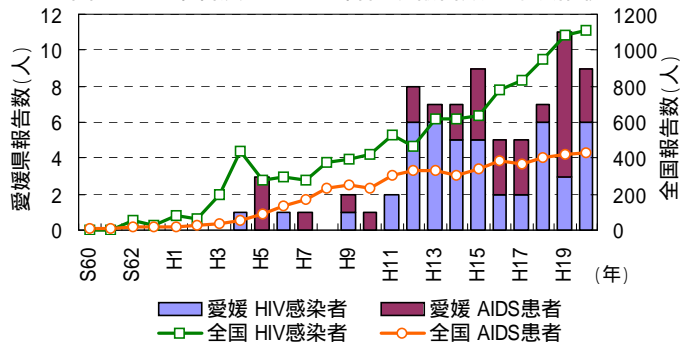
平成 21 年 5 月 27 日現在

全国の後天性免疫不全症候群の届出数は、増加傾向が続き、平成 20 年は 1,545 例（速報値）で過去最高となりました。愛媛県においても、平成 19 年に 11 例と過去最高となり、平成 21 年はこれまでに 2 例の届出がありました（右図参照）。

平成 11 年 4 月の感染症法施行後に県内で届出のあった 72 例のうち、92%が男性で、20～30 歳代が 67%を占めています。また 85%が国内での感染で、感染経路は性的接触によるものが 82%（うち異性間 41%、同性間 59%）を占めています。

エイズは決して他人事ではありません。エイズを正しく理解し、感染予防を心がけてください。

図 HIV感染者及びAIDS患者新規報告数の年次推移



## 病原体検出情報

感染性胃腸炎では、第 18 週、19 週に採取された検体 11 例中、ノロウイルスが 3 例（GI が 2 例、GII が 1 例）、ロタウイルスが 2 例（A 群、C 群各 1 例）、サポウイルスが 2 例、カンピロバクターが 1 例検出されています。4 月末以降、ロタウイルスの検出率が低下し、感染性胃腸炎から検出される病原体は多様化しています。

第 18 週に、宇和島地区の下気道炎患者（4 歳）から肺炎マイコプラズマが 1 例、第 20 週に西条地区のインフルエンザ患者から A 香港型インフルエンザウイルスが 1 例検出されています。

### 過去 5 週 検出病原体

（4 月 20 日以降採取検体）

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
17	4/20～4/26	松山市	溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	3
			感染性胃腸炎	カンピロバクター	糞便	1
				ノロ	糞便	2
18	4/27～5/3	松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	1
				ノロ	糞便	2
				サポ	糞便	1
19	5/4～5/10	松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	1
				ノロ	糞便	1
20	5/11～5/17	西条	インフルエンザ	インフルA香港	咽頭ぬぐい液	1
21	5/18～5/24	松山市	溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1

### 月別病原体検出結果

検出病原体	検体採取月	2008					2009					合計	
	2008	1	2	3	4	5	2009	1	2	3	4		5
ウイルス	エコー 3			1	1								2
	インフルAソ連	2	14	5	3	1							25
	インフルA香港	3	5									1	9
	インフルB		4	6	3	1							14
	RS	8	3										11
	ノロ		2	10	7	20	1						40
	サポ	21	30	20	10	7	1						89
	アデノ	6	3	5	4	6	1						25
	アデノ 1		1	1	2								4
	アデノ 2		1		1								1
アデノ 3	1	1										2	
アデノ 5		1	1									2	
ウイルス計	42	64	49	31	35	4						225	
細菌	下痢原性大腸菌	1			3	1							5
	カンピロバクター	1	1			1	1						4
	A群溶レン菌	2	1	2	2	6	1						14
	肺炎マイコプラズマ					1							1
細菌計	4	2	2	5	9	2						24	

### 臨床断名別検出結果

（2009 年 3 月以降採取検体）

検出病原体	インフル エンザ	溶 レン 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	下 気 道 炎	上 気 道 炎	不 明 熱	合 計
エコー 3				1			1
インフルAソ連	4						4
インフルA香港	1						1
インフルB	1				2	1	4
ノロ			28				28
サポ			11				11
アデノ			2				2
アデノ 1				1			1
ウイルス計	6		59	2	2	1	70
下痢原性大腸菌			4				4
カンピロバクター			2				2
A群溶レン菌		9					9
肺炎マイコプラズマ				1			1
細菌計		9	6	1			16

愛媛県 定点把握五類感染症 2009年 第 21 週 (2009.5.18 ~ 5.24)

患者報告数		小児科定点											眼科定点		基幹定点				四国中央 西条 今治 松山市 松山 八幡浜 宇和島	
		インフルエンザ <sup>1)</sup>	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 <sup>2)</sup>	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 <sup>3)</sup>
保健所別	四国中央				5	29	4			4			-	-			3		四国中央	
	西条	2		1	12	59	5			6			8	1					西条	
	今治	3	1	1	15	56	3			2				5					今治	
	松山市	8	1	3	21	169	26			2	13		1	17	2	-	-	-	-	松山市
	松山			1	3	42	8			1	3			1				1		松山
	八幡浜	12		1	2	55	3	1			4			7	6			7		八幡浜
週推移	宇和島	8			2	10	1			3		1	1				2		宇和島	
	愛媛県	33	2	7	60	420	50	1	3	35		2	34	14			13		愛媛県	
	1週前	24	1	5	79	415	80	2	4	41	3	2	42	8			10		1週前	
	2週前	39	4	5	37	294	46		1	24	1	1	19	11			1		2週前	
3週前	105	4	6	68	456	66		5	34	1	1	28	16			4		3週前		
年齢別	0-5ヶ月		1			3	1			1									0	
	6-11ヶ月	2				20	4			2	16		1				7		1-4	
	1			1	1	55	7				15		1	1			2		5-9	
	2	2		3		49	12	1			3		2				2		10-14	
	3	2		1	2	70	11						10				1		15-19	
	4	2	1	1	15	64	9		1				6						20-24	
	5	2			24	38	2						8				1		25-29	
	6				3	31	2												30-34	
	7	2		1	2	21	1												35-39	
	8	1			6	17								2					40-44	
	9	1			2	17	1							2					45-49	
	10-14	9			5	26								2	2				50-54	
	15-19	4				2									1				55-59	
	20-29 <sup>4)</sup>	2				7									2				60-64	
	30-39	1													3				65-69	
	40-49	1													2				70-	
	50-59	1													1					
60-69	1													2						
70-79 <sup>5)</sup>																				
80-																				

定点当たり報告数

保健所別	四国中央			1.7	9.7	1.3			1.3			-	-			3.0		四国中央
	西条	.2		.2	2.0	9.8	.8		1.0			1.3	1.0					西条
	今治	.4	.2	.2	3.0	11.2	.6		.4				5.0					今治
	松山市	.5	.1	.3	1.9	15.4	2.4		.2	1.2	.1	1.5	.7	-	-	-	-	松山市
	松山			.3	.8	10.5	2.0		.3	.8		.3				1.0		松山
	八幡浜	1.7		.3	.5	13.8	.8	.3		1.0		1.8	6.0			7.0		八幡浜
宇和島	1.1			.5	2.5	.3			.8	.3	.3				2.0		宇和島	
愛媛県	.5	.1	.2	1.6	11.4	1.4	.0	.1	.9	.1	.9	1.8			2.2		愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。  
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は5月27日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2009年 第 20 週 (2009.5.11 ~ 5.17)

患者報告数		小児科定点											眼科定点		基幹定点				四国中央 西条 今治 松山市 松山 八幡浜 宇和島
		インフルエンザ <sup>1)</sup>	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 <sup>2)</sup>	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	
保健所別	四国中央				3	24	1					4	-	-			6		四国中央
	西条	3		1	6	59	14	2	1	6				1			1		西条
	今治	1	1	1	13	26	5			7	1	1		2			1		今治
	松山市	6		2	24	175	28		2	17		1	18	3	-	-	-	-	松山市
	松山				14	45	20		1	6			6	1					松山
週推移	八幡浜	14		1	9	69	5			2		6	1				2		八幡浜
	宇和島				10	17	7			3	3	7					1		宇和島
	愛媛県	24	1	5	79	415	80	2	4	41	3	2	42	8			10		愛媛県
	1週前	39	4	5	37	294	46		1	24	1	1	19	11			1		1週前
	2週前	105	4	6	68	456	66		5	34	1	1	28	16			4		2週前
3週前	131	6	14	67	427	42	2		47			58	11			2		3週前	
年齢別	0-5ヶ月					3	1			1									0
	6-11ヶ月					27	2	1		19		1	1				6		1-4
	1	1	1	1	69	17				19			2			2		5-9	
	2	1	3	8	49	18	1			2			6			1		10-14	
	3	1		12	55	12							8					15-19	
	4		1	14	45	13		1			1	15					1		20-24
	5	1		11	44	11		1				2							25-29
	6	1		11	32			1			1	5							30-34
	7	3		6	21	4		1			1	1							35-39
	8			5	14	1						1							40-44
	9	3		5	7	1						1							45-49
	10-14	5		4	42									1					50-54
	15-19	6			4						1								55-59
	20-29 <sup>4)</sup>	1		2	3									2					60-64
	30-39													1					65-69
	40-49	2												1					70-
	50-59													2					
60-69													1						
70-79 <sup>5)</sup>																			
80-																			

定点当たり報告数

保健所別	四国中央			1.0	8.0	.3						1.3	-	-			6.0		四国中央
	西条	.3		.2	1.0	9.8	2.3	.3	.2	1.0				1.0					西条
	今治	.1	.2	.2	2.6	5.2	1.0			1.4		.2	.2				1.0		今治
	松山市	.4		.2	2.2	15.9	2.5		.2	1.5		.1	1.6	1.0	-	-	-	-	松山市
	松山				3.5	11.3	5.0		.3	1.5			1.5	1.0					松山
愛媛県	八幡浜	2.0		.3	2.3	17.3	1.3		.5			1.5	1.0				2.0		八幡浜
	宇和島				2.5	4.3	1.8		.8	.8		1.8					1.0		宇和島
愛媛県	.4	.0	.1	2.1	11.2	2.2	.1	.1	1.1	.1	.1	1.1	1.0			1.7		愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。  
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は5月20日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。



全国 定点把握感染症 第19、20週 (2009.5.4 ~ 5.17)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点					
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎		
19週	愛媛県	.6	.1	.1	1.0	7.9	1.2		.0	.6	.0	.0	.5		1.4			.2		
	近畿県	香川県	.7		.6	1.3	14.4	2.7	.1		.5		.0	.2		.3	.2			
		徳島県	1.0	.0	.1	1.1	9.0	1.1	.4		.7		.0	.1						
		高知県	.7		.0	.9	4.2	2.2			.3	.2		.9		.3	.1	.1	.4	
	全 国	1.7	.1	.2	1.2	5.6	1.6	.1	.1	.4	.0	.0	.5	.0	.4	.0	.0	.4	.0	
	北海道	5.3	.1	.5	1.1	2.6	1.4		.1	.2	.0	.0	.1	.0	.4			.3		
	東北	3.3	.1	.2	1.2	5.1	1.2	.1	.0	.4	.0		.5		.5		.0	.7		
	関東	.9	.0	.1	1.3	4.4	1.4	.0	.1	.5	.0	.0	.5	.0	.4	.0	.0	.5	.0	
	甲信越北陸	2.7	.1	.2	1.6	7.2	2.2	.0	.0	.4	.0	.0	.5	.0	.5		.0	.3		
	東海	1.6	.0	.2	1.0	3.8	1.7	.0	.0	.4	.0	.1	.5		.3		.0	.3		
近畿	.5	.1	.2	1.0	7.5	1.4	.0	.1	.3	.0	.0	.4	.0	.2	.0		.3			
中国四国	1.2	.0	.3	1.2	7.5	1.7	.1	.1	.4	.1	.1	.4		.7	.0	.0	.2			
九州沖縄	2.3	.1	.3	1.0	6.1	2.4	.1	.1	.6	.0	.1	.9		.7	.0	.0	.4			

(2009.5.13集計)

20週	愛媛県	.4	.0	.1	2.1	11.2	2.2	.1	.1	1.1	.1	.1	1.1		1.0			1.7		
	近畿県	香川県	.4		.4	1.5	7.8	1.8	.0	.1	.5	.0		.3		.3				
		徳島県	.8	.1	.1	1.1	8.9	1.8	.3	.1	.6	.1	.1	.3						
		高知県	.5		.3	1.2	5.8	1.7	.1	.1	.4	.2		1.4						
	全 国	1.1	.1	.3	2.0	6.9	2.0	.1	.2	.7	.1	.1	.7	.0	.5	.0	.0	.4	.0	
	北海道	2.7	.0	.7	2.1	3.1	2.1	.0	.1	.2	.1	.0	.1		.3			.0		
	東北	1.5	.1	.3	1.9	6.8	2.0	.1	.2	.6	.0	.1	.5		.6	.0	.0	.8	.0	
	関東	.6	.0	.2	2.2	5.6	1.6	.1	.3	.7	.1	.1	.6	.0	.6		.0	.5	.0	
	甲信越北陸	1.5	.1	.3	2.7	8.7	2.1	.0	.1	.6	.1	.0	.7		.6		.0	.3	.1	
	東海	1.0	.0	.4	1.7	4.9	1.7	.1	.1	.8	.0	.1	.5		.3	.1		.6	.0	
近畿	.4	.1	.3	1.8	9.0	1.9	.1	.2	.5	.1	.1	.5	.0	.3	.0		.2			
中国四国	.9	.0	.3	1.7	8.5	2.0	.1	.2	.7	.1	.1	.5	.0	.8		.0	.4	.0		
九州沖縄	1.9	.1	.4	1.8	8.1	2.8	.2	.1	.9	.1	.2	1.5	.0	1.1	.1	.1	.4	.0		

(2009.5.20集計)

1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

3) オウム病を除く。

